



鯨ヶ沢町商工会報

～商工会は行きます 聞きます 提案します～

発行 鯨ヶ沢町商工会
 〒038-2754 鯨ヶ沢町大字米町 25-1
 TEL 72-2376 FAX 72-6653
 E-mail : ajis2376@rose.ocn.ne.jp
 http://www.ajigasawa.biz/
 会員数 304名 (1月25日現在)

令和五年年頭のご挨拶

**鯨ヶ沢町商工会長
太田 正光**



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健康やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

年頭によせて

さて、昨年を振り返りますと、まず一番に8月に鯨ヶ沢町を襲った大雨災害が思い出されます。舞戸町地区を中心に大規模な洪水被害に見舞われ、多くの会員の皆様が被災いたしました。

商工会では「このような時に何をすべきか、何が出来るのか」を常に模索し、これまで支援を行ってまいりました。全国商工会連合会をはじめ各諸団体からご支援を頂き、被災会員の皆様への義援金や物資の配布へ活用させて頂きました。そのほか、行政との連携による経営金融相談会の実施や支援金の要望等を行うなど、今回被災に遭われた皆様の事業復興へ向け尽力してまいりました。

新型コロナウイルス感染症の長期化、原油・原材料費の高騰など厳しい経済状況が続く中で今回のような自然災害に見舞われ、これまで以上に過酷な1年でありました。

このような中、当会では昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症及び物価価格高騰対策としてプレミアム商品券・応援商品券事業を町より受託し実施してまいりました。また、2年目となるイルミネーション誘客事業を実施し、今年度は大雨災害によって暗く落ち込んでいた舞戸町の活気を取り戻すべく、これまで以上に力を入れた事業を進めてまいりました。

新型コロナウイルス感染症拡大から今年で4年目を迎え、各制限は無くなったものの、未だにコロナ禍以前と同等とはいきません。本会でも総会懇親会や会員新年会などの再開は出来ておらず、会員皆様との交流機会も減り大変もの寂しい思いです。

商工会では「行きます・聞きます・提案します」のローガンのもと、これまで以上に会員の皆様との関係性を密に、会員の皆様に寄り添った伴走型支援の重要性を再認識し、引き続き役員一丸となり全力で

支援を行ってまいります。また、今後も町の発展のため行政や関係団体と積極的に連携し事業を行ってまいります。最後に、年頭にあたり会員皆様方のご健勝とご発展を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

【役員】

会長	太田 正光	釣町
副会長	滝沢 英一	漁師町
副会長	野呂 貞一	北浮田町
理事	斉藤 行治	富根町
理事	本間 宏幸	本町
理事	一戸 勝範	舞戸町
理事	花田 恭一	七ツ石町
理事	葛西 功樹	舞戸町
理事	千田 功	舞戸町
理事	坂牛 哉子	舞戸町
理事	八木澤健一	舞戸町
理事	菊谷 忠光	本町
理事	成田 直樹	中村町
理事	石岡 勝	赤石町
理事	尾崎 大	漁師町
理事	網野 修	淀町
理事	西澤 仁志	北浮田町
理事	新保 航	青年部
理事	葛西 和子	女性部
理事	増田 晶夫	舞戸町
監事	安田 正美	日照田町

商工会青年部長

新保 航



謹んで新年のお祝辞を申し上げます。昨年は商工会員の皆様には多大なるご協力を頂き誠にありがとうございました。令和5年となり青年部員みな心機一転の気持ちで今年も活躍していきたいと思っております。

部員活動として6月に「商工会の日」として青年部員ではまなす公園内のゴミ拾い活動。また同じく6月にはまなす公園でヒラメのサンドアート作成を行いました。

さて昨年は8月9日に発生しました鯨ヶ沢町を含む青森県豪雨災害で甚大な被害が町内外で発生しました。いまだに中村川領域の堤防は崩れたままで、今もその爪痕が残っております。被害に遭われた事業所、また住民の皆様はこの場を借りて謹んでお見舞い申し上げます。青年部員内では、雨が明けた次の日から、どこの誰の事業所が、どの位の被害で、今何が必要かの連絡を取り合い、町内でも被害が比較的少ない動ける人達と、つがる市商工会青年部員の協力も借りながら水に浸かった部員の事業所内のゴミの撤去、運搬を行いました。また商工会事務局と話し合い、被害に遭った青年部員事業所へ部費から各1万円の給付をするやり取りも迅速に行えました。

今回のこの青年部員同士の災害活動の早さは、常日頃から青年部活動で集まった仲間達との絆があつてこそだったなと今は胸を張って言えます。これも普段から鯨ヶ沢町商工会皆様方のご指導があるから活動出来ることだと深く感謝致します。引き続き会員皆様のご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。最後になりましたが、皆様のご健勝とご発展を心からお祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。

商工会女性部長

葛西 和子



新年明けましておめでとうございます。昨年は管内でも連日多数のコロナ感染者が発生し、身近に迫るウイルスに翻弄される中、ロシアのウクライナ侵攻の影響による値上げラッシュに頭を抱える一年となりました。

また、8月9日の大雨災害によりわが町は甚大な被害に見舞われ、女性部員も半数近くが自宅や事業所、倉庫等が被災しました。復旧に向けボランティアの方々、親戚、友人、各団体の方々の暖かい支援を受け、現在は落ち着きつつあります。人と人との繋がりに感謝しありがとうございます。あらためてお礼申し上げますが、女性部は今年

もお互いに協力し助け合いながら、良いアイデアを持ち寄って、盛り上げていきたいと思えます。出来ることから少しずつでも、卵のように軽やかにピョンと飛躍していきたいものです。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

講習会開催

求人対策セミナー

12月7日、本町社会保険労務士事務所 所長本田淳也氏を講師として招き、「ハローワーク有効活用法」と題した求人対策セミナーを開催しました。

セミナーに参加した7名の受講者は、現代の求職者の心理状況や企業の選考方法について説明を受け、ここ数年で従来の安定所頼みでの募集では求職者には選ばれないことを理解し、インターネットサービスを有効に使いながら働きたいと思われる求人票の作り方を掲載事例を交えながら学びました。

西つ地区業種別講習会

12月15日、青森県商工会連合会主催による西つ地区業種別講習会が開催されました。

小野寺税理士社会保険労務士事務所 小野寺剛氏を講師とし、鯨ヶ沢町商工会館にて開催。その様子をつがる市・深浦町の各商工会館とオンラインで繋ぎ同時視聴を行うといった形式で実施しました。

セミナーには12名が参加し、令和5年10月から始まるインボイス制度について説明を受けました。セミナー内では活発に質疑応答がなされ、実施まで1年をかけたインボイス制度に関して高い関心を持って挑んでいることが見て取られました。

※インボイスとは

「適用税率や税額の記載を義務付けた請求書」のことを言い、消費税の仕入税額控除計算の証拠書類となります。課税事業者はもちろん、課税事業者と取引のある免税事業者にも大きく関わります。

てきます。制度の開始に伴い請求書の様式変更、レジシステムの改修、取引先との契約や価格の見直し等が必要となる場合があります。早めの準備を進めましょう。

大雨災害復興支援

各団体より義援金を受贈

全国商工会連合会及び被災した3商工会（鯨ヶ沢・深浦・中泊）を除く県内商工会と青森県商工会連合会より合わせて73万円の義援金を受贈いたしました。

災害義援金の支給（2回目）

義援金の受贈を受け、商工会ではこの度の大雨災害によって被害を受けた75件の会員へ対し、2回目となる一律1万円の災害義援金を支給いたしました。微力ではありますが、今後とも復興へ向けて引き続き支援を続けてまいります。

イルミネーション誘客事業

イルミネーション設置

来客者の増加と誘客を図るため、町が実施するイルミネーション装飾に期間を合わせ、駅前通りの飲食店を中心とした店舗をイルミネーションで装飾しました。実施から2年目となる当事業ですが、今年度は23件の店舗にご協力を頂きました。

各店舗入口にイルミネーションを設置しておりますので是非一度駅前通りに足を運び御覧ください。装飾期間は令和5年1月31日まで、夕方4時半〜閉店までの点灯となっております。

イルミネーション点灯式

12月8日、町イルミネーション点灯式が駅前広場にて開催されました。野呂副会長が出席し、挨拶ではイルミネーション点灯を通して、鯨ヶ沢町地域の活性化と大雨災害からの復興の願いを述べられました。

